

<p>第1巻 (1～3章) 目次 (B5版 140 ページ)</p> <p>第1章 ゾディアックと心 (プシケ) ～マクロコズムからミクロコズムへ～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゾディアックとは 2. ゾディアックの構造 <ol style="list-style-type: none"> (1) 個人と集団 / (2) エレメント / (3) モダリティ (4) ポラリティ / (5) パースペクティブ 3. 角度的な関係 <ol style="list-style-type: none"> (1) コンジャンクション / (2) セミセクススタイル / (3) セクススタイル / (4) スクエア / (5) トライン (6) クインカンクス / (7) オポジション 4. 全体の統合 <p>第2章 レジエントを理解する ～ポラリティ、エレメント、モダリティ、パースペクティブ～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホロスコープのレジエント 2. 個人と集団サイン 3. パースペクティブ <ol style="list-style-type: none"> (1) パーソナル (個人的) / (2) ソーシャル (社会的) (3) ユニバーサル (普遍的) 4. ポラリティ <ol style="list-style-type: none"> (1) 陽のサイン / (2) 陰のサイン 5. エレメント <ol style="list-style-type: none"> (1) 火 / (2) 地 / (3) 風 / (4) 水 6. モダリティ <ol style="list-style-type: none"> (1) カーディナル (活動) / (2) フィクスト (不動/固定) (3) ミュータブル (柔軟) / (4) 要点のまとめ <p>第3章 基本的な欲求としてのサイン ～アーキタイプ、発達段階、特質、テーマ～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 占星学的言語の部品 2. 行動描写としてのサイン 3. 動機づけの衝動としてのサイン 4. 出来事としてのサイン 5. サブパーソナリティとしてのサイン <ol style="list-style-type: none"> (1) 牡羊座 / (2) 牡牛座 / (3) 双子座 / (4) 蟹座 / (5) 獅子座 / (6) 乙女座 / (7) 天秤座 / (8) 蠍座 / (9) 射手座 (10) 山羊座 / (11) 水瓶座 / (12) 魚座 6. まとめ 	<p>第2巻 (4～5章) 目次 (B5版 130 ページ)</p> <p>第4章 元型的プロセスとしての天体 ～基本欲求の自発的動因～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プロセス <ol style="list-style-type: none"> (1) 生来の動機 / (2) 動機のアーキタイプの起源 (3) シンクロニシティと外来的な動機 / (4) ゾディアックは自己のアーキタイプ / (5) 動機付けの欲求としてのサイン / (6) 天体の能力・機能 / (7) 天体の感情と目標状態 (8) 心理的な状態としての天体 / (9) 天体の行動目標 (10) まとめ 2. コンテント <ol style="list-style-type: none"> (1) アーキタイプのキャラクター / (2) アーキタイプの場所 / (3) アーキタイプのモノ / (4) 出来事としての天体 / (5) まとめと結論 3. 太陽、月及び惑星の概説 <ol style="list-style-type: none"> (1) 太陽 / (2) 月 / (3) 水星 / (4) 金星 / (5) 火星 / (6) 木星 / (7) 土星 / (8) 天王星 / (9) 海王星 / (10) 冥王星 <p>第5章 占星言語の解体 ～サインにある天体を解釈する文法的な法則～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 天体とサインを組み合わせる 2. 名詞としての天体 <ol style="list-style-type: none"> (1) 心理的な能力としての天体 (2) 天体を名詞化する：能力を機能へ (3) 主語としての天体、補語としてのサイン (4) 天体とサインのアーキタイプの関係性 (5) アーキタイプのキャラクターとしての天体、形容詞としてのサイン 3. 動詞としての天体 <ol style="list-style-type: none"> (1) 動詞としての天体、名詞/欲求としてのサイン (2) 動詞としての天体、副詞としてのサイン (3) 動詞としての天体、副詞句としてのサイン 4. チャートのコンテント <ol style="list-style-type: none"> (1) 状態としての天体、領域としてのサイン (2) 動詞としての天体、補語としてのサイン 5. 解釈の統合 サインにある天体を解釈する5つの基準 まとめ 	<p>第3巻 (6～9章) 目次 (B5版 144 ページ)</p> <p>第6章 心理的な環境としてのハウス ～物語の設定を確立する～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ハウスの心理的な構造 2. ライフストーリーの場面や状況設定 各ハウスに関連する特定の活動 3. ハウスにある天体を解釈する原則 <ol style="list-style-type: none"> (1) 成長と発達 / (2) 欲求やスタイルを文脈の中に配置する / (3) プロセスの状況的な特定性 / (4) 状態の状況的な特定性 / (5) 時間と共に結果は変化する / (6) 投影としての天体 / (7) 天体とハウスのアーキタイプの関係 (8) ハウスの中のサインの中の天体 / (9) まとめ <p>第7章 デイスポジションとシグニファイケーター ～人生脚本のプロット構造～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デイスポジション 2. ミューチャルレセプションになっている天体 3. ファイナルデイスポジション 4. 共同ファイナルデイスポジション 5. シグニファイケーター 6. 占星学的な文法 7. 羅生門の法則 8. 主要なポイントのまとめ <p>第8章 個人的な神話としてのアスペクト ～中心的なテーマと芯になる葛藤～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人的神話の中心的なテーマと芯になる葛藤 スターウォーズの葛藤 2. アスペクトとは何か 3. メジャーアスペクトの核的な意味 4. キャラクターの統合 5. まとめ <p>第9章 診断ツールとしての占星学 ～物語を解釈する～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 意識の占星学的モデル 2. ホロスコープをセラピーに活用する 3. ワンタイムチャート解釈 4. むすび
---	--	--